

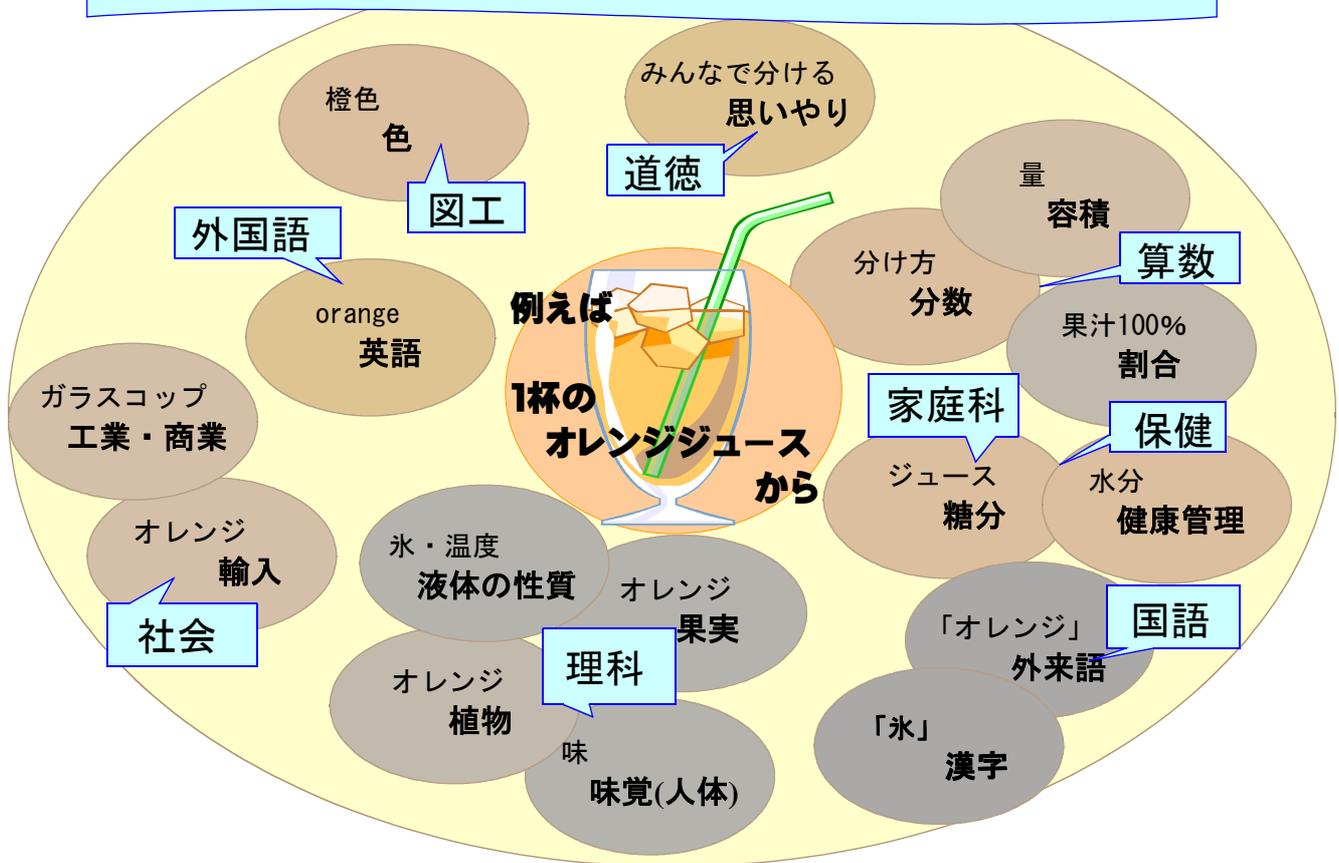
健康維持は学力をつける下地

健康でなければ、学習だってままなりません。食事や睡眠をしっかりとって健康な体をつくり、体力を維持していくことは不可欠です。食事や睡眠から学ぶことだってたくさんあります。人体のしくみを経験的に理解していくことにもなります。それは自動的に生活科、保健体育、理科、家庭科等の学びの一部となっていくのです。



様々な事への興味・関心をもつこと
 学ぶことはそこから始まります

ひとつのものにたくさんの学びのきっかけがあります



自然現象・事象は全てがすべてが理科です。人との関わり・その積み重ねは、すべてが社会です。会話をはじめとする様々な意思伝達のすべてが国語の範疇に入り、数や形に関わることはすべてが算数の領域に含まれるのです。一つのことから様々な学びにつながります。そこから何か一つでも学ぶことができるかどうかは、学ぼうとする姿勢があるかないかの違いしかありません。そしてその姿勢をもつことが、学力向上の土台を作り、広げていくことなのです。

子どもたちが様々なことに興味をもち、もっと知りたい、調べてみたいと思うように仕向ける。そんな機会が家庭には常にあふれています。知識欲を刺激してあげてください。

同じ勉強という行為をする・させるにしても「勉強しなさい！」と言ってやらせるのと、「これ、どうやると思う？」「どうやったらわかると思う？」と問いかけ、意欲を刺激するのとでは途中のプロセスにも結果にも、大きな差が出てくるのです。